

平成19年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野市開発公社						
①	指標名	イースト吉祥寺まちづくり活性化事業			目標値	地区の協議会活動が充実できるように支援を強化する	実績値	地区計画等のまちのルールづくりの実現に向け大きく前進した
	過去の実績	平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率		達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:)		○	○				
	取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①平成18年1月に吉祥寺東部地区活性化懇談会を立ち上げ計14回、その後、吉祥寺東部地区まちづくりルール検討協議会として20年3月までに計19回の論議を積み重ね、事務局及びアドバイザーとして「地区計画」の制度化に向けた活動を支えた。具体的には「地区計画素案」及び「まちづくりガイドライン(仮称)」を作成し、まちづくり推進課と意見交換を行った。 ②東部地区の活性化のために共同ビル化を推進する地権者に協力するため、3つのブロックでその具体化を進めた。 ③元氣市などのイベントへの協力など、吉祥寺東部地区街づくり協議会、ペルロード維持管理協議会及びみその通り維持管理協議会などの行うまちづくり活動に対して、吉祥寺まちづくり事務所などと連携して、支援・協力を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①地域のまちづくりのルールとなる「地区計画素案」及び「まちづくりガイドライン(仮称)」を作成することができた。 ②この「地区計画素案」及び「まちづくりガイドライン(仮称)」を基に、まちづくり推進課と意見交換を行い、最終案の作成を始めることができた。 ③以上、地区計画等のまちのルールづくりの実現に向け大きく前進した。						
二次評価	イースト吉祥寺まちづくり活性化に対して、平成18年度には吉祥寺東部地区活性化懇談会の立ち上げ、平成19年度は「地区計画素案」、「まちづくりガイドライン(仮称)」の作成、及びこれらに基づき市のまちづくり推進課との意見交換を経て最終案の作成に取り組んでいる。また、東部地区の活性化のために共同ビル化を推進する地権者に協力を行った。さらに吉祥寺東部地区まちづくり協議会、ペルロード維持管理協議会及びみその通り維持管理協議会などの行うまちづくり活動に対して支援・協力を行うなどイースト吉祥寺のまちづくり活性化に寄与したことは評価できる。今後ともイースト吉祥寺まちづくり活性化事業については、市との役割分担及び連携を密にして実施すること。							
②	指標名	事業基盤の安定と財政力の充実			目標値	1,391,727千円	実績値	1,381,923千円
	過去の実績	平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率	99.3%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:千円)	1,238,170	1,340,514	1,331,391				
	取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①テナント店長会を6回実施し、現場の要望等を反映させた施設の運営を行うと共に、販促委員会の中でさらに検討を重ね、快適な商業環境の整備に努めた。また、販促委員会は15回実施し、販促計画の立案及びサイン計画の見直しを中心にビルの活性化のための検討を行った。 ②新たに2店の新規テナントを、従来の店舗区画以外の場所に誘致したことにより、以前は売場が途切れていた箇所もなくなり、フロアの一体感が形成され施設の改善が図れた。 ③テナントの売上増は公社の賃料収入に直結するため、ビル所有者として別途サインの見直しに職員全員で取り組んだ。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①11月の1周年事業ではほとんどの店舗が前年比売上100%以上を記録し、冬の販促セール抽選会では前年の3倍強の参加者があった。 ②新規テナントとの契約により年間530万円の収入増に結びついた。 ③2箇所のサインの大幅な改修を行い、視認性を向上させ集客増に繋がった。						
二次評価	テナントの販売促進のため、テナント店長会議の実施や販売促進委員会を通じての販促計画の立案、サイン計画の見直し、新規テナントの誘致を行うなど、積極的な取組みを行った結果、事業収入は3.8%増加した。目標値にはわずかに届かなかったものの、事業基盤の安定と財政力の充実には寄与できたものと評価する。							
③	指標名	職員研修の充実			目標値	通信教育講座の実施1名 社内プロジェクトの実施	実績値	通信教育講座の実施1名 社内プロジェクトの実施
	過去の実績	平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:)	通信教育2名 派遣研修2名	通信教育2名 派遣研修1名	通信教育2名				
	取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市が職員研修としてプログラムしている「通信教育」から財務分析コースを受講させた。 ②6月に公益法人制度改革に関する社内プロジェクトを設置し、14回の議論を重ね20年1月に中間報告をまとめた。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①今回の通信教育の受講により、開発公社で定める必須の履修は終わることができた。 ②公益法人制度改革に関する社内プロジェクトでは、固有職員全員がメンバーとなり、業務多忙のなか精力的に議論を重ね、中間報告をまとめることができた。						
二次評価	職員研修については、市が行っている「通信教育」から財務分析コースを受講し、これをもって開発公社で定める必須の履修が終了したことは評価できる。また、喫緊の課題である公益法人制度改革についても職員が一丸となって社内プロジェクトを組み中間報告をまとめたことは評価できる。今後も公益法人制度改革への対応を研究する過程を通じて職員研修を充実させていくこと。							